

湯沢町統合文教施設検討結果報告書に対する

意見募集結果

- ◎ 閲覧場所
- ・湯沢町教育委員会
 - ・湯沢町健康福祉課
 - ・湯沢町公民館
 - ・湯沢町ホームページ
- } 希望者には報告書配布

- ◎ 意見募集期間 平成23年3月14日（月）～3月23日（水） 10日間
（平成23年3月13日発行の「広報ゆざわ」に掲載）

- ◎ 意見応募者数 4名

- ◎ 意見件数

内訳	全体について	2件
	教育について	4件
	保育について	2件
	建設について	5件
	その他	2件
合 計		15件

- ◎ 提出方法

郵 送	1名
メール	1名
F A X	1名
持 参	1名
合 計	4名

* お寄せいただいたご意見は、今後の取組や施設の基本設計等において参考とさせていただきます。個人に関する情報を除き公表する場合があります。

意見内容

(お寄せいただいたご意見は、原文のまま掲載しています。)

◎全体について

- ① 報告書を読まさせていただき、よく検討され、まとめられたものだと感心しました。今後も検討する事項は山積していると思いますが、期待しています。
- ② 湯沢町30年に一度、50年に一度の大事業と行政の方から聞きました。しかし、30年前のような経済は成長傾向にはなく、また、湯沢町をみてもバブル時期から目に見えて衰退してみえます。
そんな中の大事業ですので、是非早急に、いつ、だれが、どのようにして、支払っていくのか、予算の面での計画を出していただきたいと思います。町がどのように返済していくのか、町民がどのように負担していくのか、今後湯沢を支える子どもたちのために、是非提示、公表していただきたいと思います。
予算計画委員会みたいなものはないのでしょうか？

◎教育について

- ① 保育士、小中学校教員を取り巻く職員もさらに充実させてほしいと思います。
内 容
 - ・ 観光地としての発展につなげるためにALTを増員し、かつ地域への活動の場を広げられるように学校外での教育活動も充実させるとか。
 - ・ 図書室の司書は2名以上かつ常駐で配置を。
 - ・ 地域交流センター職員は、意欲のある方をぜひ専任で。「行政」「民間」の枠を超えて活躍してほしい。また、学校運営体制の概略図の中に、一機関として独立させて運営していく方が「協働型教育」の内容が深まると思う。
- ② P5、当地域での教員は移動サイクルが短いこと、また個人的には、地元を拠点とした教員が少ないように感じています。
そのような状態である中、湯沢町としての方針や学校体制を本当に実行することができるのか、疑問に感じています。
また、中学校の教員への負担を増やさないために配慮すること(9ページ)などがありますが、中学校の教員のみならず、小学校の教員へも負担が増えるのではないかと懸念され、この県内にまれな学校システムをもつ湯沢へ、よい

先生方が集まってくださるのか心配です。よい先生を集めるための方策、検討していただきたいと思います。(よい教育方針をもっているところには自然とよい先生が集まる、などとは言えないと思いますので)

③ P 1 6、制服、体操着について、制服、体操着が新しいデザインのものに変更されるかされないか、早めに決定していただき、新しく学校が始まる前から、旧学校でも使用できるといいと思います。(例えば、H 2 5年から新学校が始まるとして、H 2 4年の一年生は旧学校の体操着を一年使用し、次年度には新学校の体操着を購入しなくてはならないので、そうではなく、一年生になったときに新体操着を購入できると。出費の面から助かります。)

④ 湯沢町ならではの教育資源を活かした活動 (P 1 1)

学校登山、スキー授業、観光ボランティア、農業体験、地産地消、e t c どれもとても素晴らしいと思います。

勉強がもちろん大切です。が、体験が多いほど社会へ出た時に役に立つ事があると思います。そして、湯沢町を誇りに思ってもらえるような活動が多くなるよう願います。

◎保育について

① 子育て支援センターの職員を増員して下さい。職員の熱意だけに頼らず、複数員の配置や夜間・休日対応ができる体制などを早急に求めたいです。

② P 2 1、保護者の共働きや、ひとり親世帯の増加、P 2 5、地域子育て支援センターの充実など

町から、湯沢の子どもの人数の推移を表にし、今後少子化が進むと予測されることの説明からは、矛盾を感じています。

ひとり親世帯が増加していくという根拠、子どもが減少していくと言っているのに充実させる必要性(内容)について、もう一度検討していただけたら、と思います。

◎建設について

① 駐車場の位置、交差点や歩道の整備についてもご検討下さい。

② 大震災直後でもあるので、避難所としての機能も果たせるように通信や災害

物資の保管等も配慮してはどうでしょうか。町役場が被害に遭うことは皆無でしょうか。

③ 配置イメージ図を早期に広報に掲載した方が良いと思います。案の段階でも構いません。一貫校に対する町民の関心が低いように思われるので、関心を引く意味で必要かと思います。

④ P32、②認定こども園とその他の施設配置として、隣接した配置とし廊下等で接続する、とありますが、この雪の多い町で、いくつも独立した建物を作ることができるか、またそれがふさわしいかどうか、検討していただきたいと思います。

その他、建屋自体、部屋数、各施設など、町から指摘の少子化を年頭においた、無駄のない学校を作っていただきたいと思います。

⑤ P34、図書室について、充実を図るようですが、今電子書籍が普及し始め、今後の図書室としての役割も変化してゆくのかもかもしれません。充実させる内容などを、検討していただきたいと思います。

◎その他

① 広報ゆざわがとどいたのが3月13日。それから、役場、総合福祉センター、公民館まで出かけ、報告書を読みこなして、意見を述べろと言われても無理（不可能に近い）ではないか。

従って、私は、報告書に対する意見ではなく、本計画の全体に対しての考えを述べる。

私は、もうずっと前からこの計画に反対していたので、この報告書のことについて申し述べることはない。報告書そのものを否定するからである。

② 湯沢の子どもをどう育てて行くか、理念も方策も見えてこない。湯沢の教育の未来を憂いるのみ。